



「その人らしく…楽しみたい」を応援します
 ふくらの森



広報

こほくかい

春号

○発行/湖北会 広報室(法人本部)

○発行者/北野 憲一

○住所/滋賀県長浜市富田町431番地5

○発行日/平成30年4月20日

平成30年度社会福祉法人湖北会の事業展開

法人理念 ～すべては、あなたの「笑顔」のために～

経営方針 ～その人らしく、地域で働きたい、暮らしたい、楽しみたいを応援します。～

この法人理念・経営方針のもと、平成30年度湖北会では、しょうがい者の重度化・高齢化により支援のニーズが多様化するなか、今まで以上に個々のニーズに応じた支援を目指していきたいと考えております。その支援を実現させるために、職員のさらなるスキルアップをめざし、昨年同様に職員研修の充実に努めます。また、支援の基礎となる人材確保に全力で取り組んでまいります。

さらに、広報誌、ホームページ等を活用し、法人及び各事業所の情報を発信し、法人経営の透明化を図ってまいります。

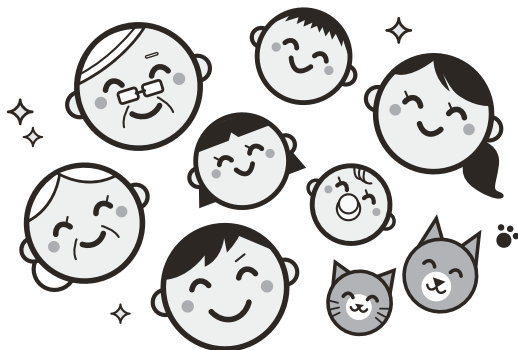
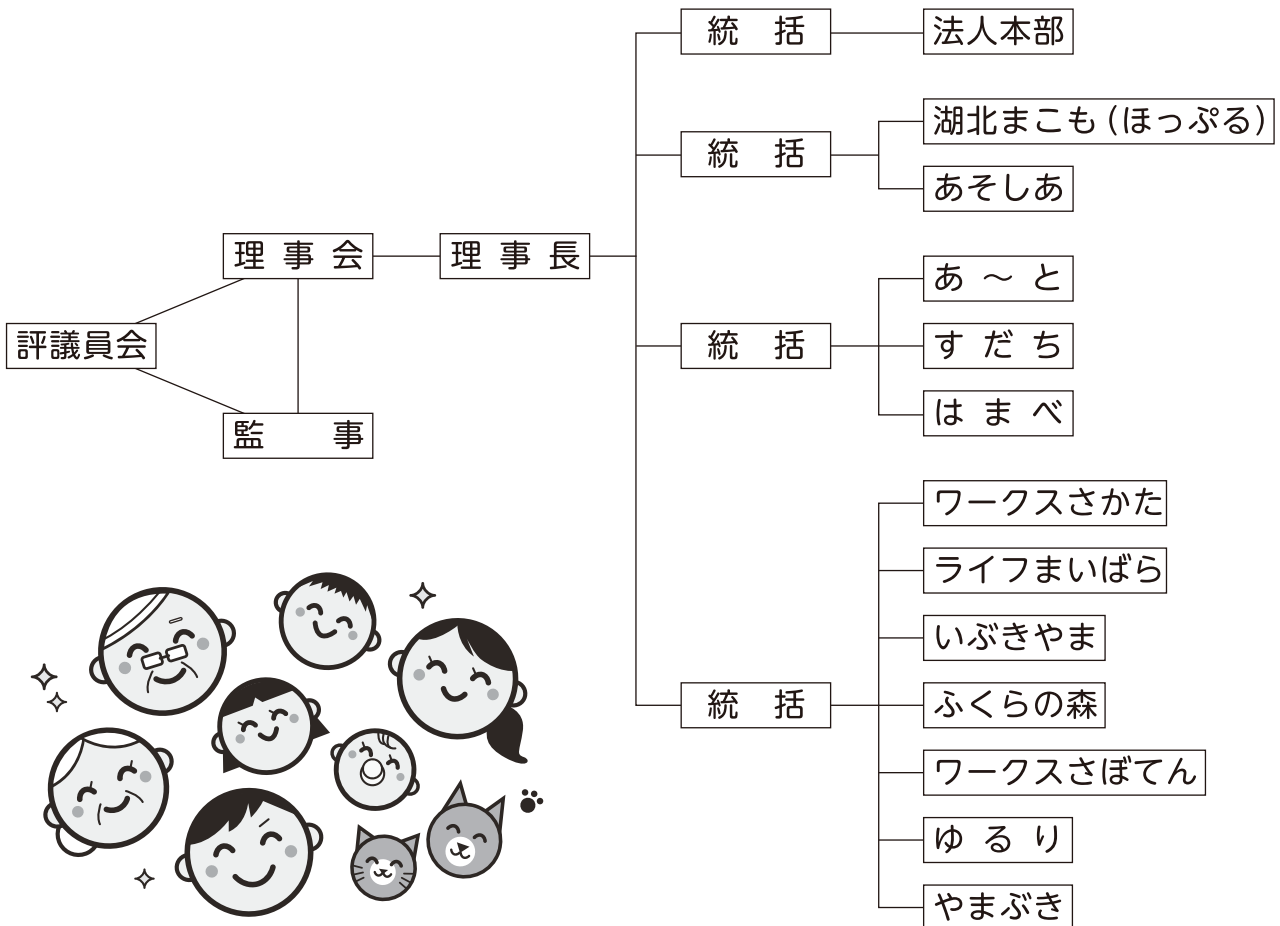
なお、平成30年度の主な実施計画 / 実施予定事業は、次のとおりです。

- 湖北会第3次将来構想（10カ年プラン）の策定
- 高齢しょうがい者に対する支援の在り方の検討
- 福祉人材確保ならびに長期視点に立った人材育成
- 多機能施設（やまぶき・いぶきやま）の在り方の検討
- 「湖北まこも」改築整備計画の推進
- 「あそしあ」大規模改修整備計画の策定
- 各事業所における防災マニュアルの改訂



本年度も、しょうがい福祉の一層の向上のため、法人一丸となって邁進してまいりますので、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

平成30年度 法人組織図



平成30年度 湖北会事業所管理職一覧

事業所名		役職名	氏名	役職名	氏名
法人本部		理事長	北野 憲一		
		管理者	浅井 善勝		
		管理者	今井 寛明		
湖北まこも	湖北まこも	管理者	嶋崎 雅之	副施設長	川合のり子
	ほっぷる			副施設長	東野雄一郎
あそしあ		管理者	山崎 悦司	副施設長	笠松 賢一
湖北地域障害者支援センターあ〜と		管理者	岸田 惣吾	副施設長	谷所 聖子
湖北相談処 すだち		管理者	岸田 惣吾		
はまべ		管理者	佐野 丈広		
ワークスさかた		管理者	大岩 憲市		
ライフまいばら		管理者	井下山 貴		
いぶきやま		管理者	小川 洋一		
ふくらの森		管理者	大岡 賢至	副施設長	曾我 英男
ワークスさぼてん		管理者	神田 航平		
ゆるり		管理者	服部 美穂		
やまぶき		管理者	嘉村 泰夫		
ほっとステーション(出向)		管理者	宮本 武彦	副施設長	阿藤 誠介

平成30年度 採用辞令交付式・年度始め式

4月2日(月)に平成30年度採用辞令交付式と年度始め式が行われました。

昨年度の採用活動では人材確保に苦慮致しましたが、新たに8名の方々を湖北会の一員として迎えることができました。採用辞令交付式は、本部会議室にて所属の施設長同席のもと、辞令書を一人ひとりに手渡しています。年度始め式では、約150名の湖北会職員が出席するなか、北野理事長より年度始めの挨拶があり、湖北会職員としての心がまえや、今年度一年間、取り組んでいくべき法人の課題等を確認しま



した。また、新任職員を代表して、ライフまいばらに配属となった中山嘉月さんより決意表明を述べていただきました。

あわせて、今年度より報奨制度の一環として、勤続永年者への表彰や、平成29年度の法人内事業所による実践報告の優秀発表事業所(ワークスさかた)の表彰も行っています。

気持ち新たに、職員一同、法人理念の実現に結びつくような支援を心がけ、障がいのある方が笑顔で暮らせるような実践を積み重ねていきたいと思ひます。



社会福祉法人 湖北会 平成30年度 新規採用職員研修開催

平成30年3月20日（火）・3月29日（木）の二日間、法人本部ゆり会議室において、新任職員が、入職にあたり、「接遇マナー」「基礎知識」等、必要なことを学ぶ。という目的で平成30年度 新規採用職員研修を実施しました。初日は、受講された新任職員のみなさんも大変緊張された様子でしたが、研修のなかで他の同期職員との関わりもあり、2日目は緊張もほぐれ、同期職員と笑顔で話されているのが印象的でした。

社会人としての歩みのなかで、助けあえる・励ましあえる仲間は大切です。今後も同期とのつながりを大切に、お互い切磋琢磨し、法人理念「すべてはあなたの「笑顔」のために」の実現を目指して、一步一步歩んで行っていただきたいです。

(法人研修委員会)

新顔登場『新人職員紹介』

○氏名 ①配属先 ②趣味・特技 ③ひと言



田中 勝美



- ①湖北まこも
- ②ドライブ
- ③利用者様の特性を一日も早く理解し、日々、やりがいを持って仕事に取り組みたいと思います。

川村 誠也



- ①湖北まこも
- ②体を動かすこと・音楽鑑賞・読書
野球・水泳・料理
- ③4月から入職致しますが、まずは、一年間しっかりと仕事内容を把握し、利用者さんに接していきたいです。一人ひとりに応じた対応で、出来ることが増えて行くような支援を行っていきたいです。

小山 大樹



- ①あそしあ
- ②ドライブ・ショッピング・映画
球技・ものまね
- ③4月から正規職員として採用して頂きました。謙虚な姿勢を大切に、利用者様に笑顔で満足できる生活を送って頂けるような支援をしていけたらと思っています。また、若さを活かして、自らが率先して動く職員になりたいです。

黒田 佳奈子

- ① 湖北まこも
- ② ヨガ（始めて1年程度ですが・・・）
- ③ 初心と笑顔を忘れず、湖北会の一員として早くお役に立てるようがんばります。ご指導よろしくお願い致します。



平居 礼

- ① やまぶき
- ② 音楽鑑賞・読書
- ③ 人との関わりを大切にしたいと思っています。わからないことばかりですが、自分らしく笑顔を忘れずに相手の立場に立ったよりよい支援ができるよう努力していきたいです。よろしくお願いします。



三和 元

- ① 湖北まこも
- ② 野球観戦（年2～3回は球場にも足を運んでいます。）
- ③ 利用者さん一人ひとりの願いに真つすぐ向き合い、支援できればと存じます。よろしくお願いします。



川瀬 紀美

- ① あそしあ
- ② 漫画読書・1人カラオケ・マスキングテープ集め
- ③ 日々、自分にできる精一杯で、みなさんと一緒に明るく働きたいと思っています。よろしくお願いします。



中山 嘉月

- ① ライフまいばら
- ② 趣味
サイクリング（休日などに自転車で遠出をします。）
特技 水泳
- ③ 利用者さんの状態や性格など理解を深めていきたいと思っています。そして、楽しく一生懸命仕事に励んでいきたいです。



川口 悠佳

- ① いぶきやま
- ② ピアノ・カフェ巡り
- ③ 利用者の方と関わる中で多くのことを学ぶと同時に経験不足、知識不足が壁となってくると思います。しかし、利用者の方一人ひとりとしっかり向き合うことでその人らしい生活に対する支援を少しでも提供していけるようにしたいと思います。



法人研修開催

テーマ 成人期の本人支援・家族支援 「ずっと家族と一緒に暮らし？ ～それぞれの暮らしを考える～」

講師 社会福祉法人 横浜やまびこの里
障害福祉事業部長 **小林 信篤 氏**



平成28年度に滋賀県発達障害者支援センターが主催された公開講座に参加し、横浜やまびこの里 小林信篤さんの講演を聞きました。講演を聞いて、湖北まこもの建て替えが迫っていたこともあり、是非湖北会の支援者にも聞いて欲しい思いで、講師としてお声かけをさせて頂いたことが、今回の研修の開催につながりました。

小林さんの講演は、県を超えての発想でもあり、参加者の中には、賛否両論の意見があると思いますが、私はとても素晴らしい発想だと感じております。

講義の中で特に印象に残っていることは、

- ◎「自閉症の人たちを専門的に支援する」のではなく「自閉症の人たちに専門的な支援をする」施設（職員）でありたい。
- ◎ないものは作ればいい。まず『出来る』と答える。それから、どうやったら出来るかを考える。
- ◎「障害のある人」とは、その社会の他の異なったニーズをもつ特別な集団と考えるべきではなく、通常的人間的ニーズを満たすのに、特別な困難を持つ普通の市民と考えるべきである。

という考え方です。

小林さんの講演を聞いた職員の方はどう感じているのか聞いてみたい思いもありますが、今後、湖北会の事業展開や支援方法が良いものになっていくと信じ、日々の業務に努めていきたいと思っております。

ほっとステーション 川崎

ペクス PECSレベル1ワークショップ開催

3月3・4日の2日間、湖北会では講師をお招きし、「PECS」の研修会を開催しました。休日にもかかわらず、28名が参加し講義を受けました。

日々の支援の中で、利用者さんとどう向き合うのか、職員はなにをどう伝えて行くのかなどを具体例やビデオでの説明、実践を交えながらわかりやすく説明していただきました。利用者さんが突然たいたり、泣いたりすることがあるとき、なぜその行動をするのか、何を伝えたいのかを探る手掛かりを知ることが出来ました。

最初は緊張していた受講者も、時間を追うごとに講師の方に質問に行くなど積極的な姿勢が多くみられました。

「PECS」とは日常生活に必要なコミュニケーションを伝えていく手法の一つです。この研修を今日からでも利用者さんの支援に役立てていきたいです。



ワークスさぼてん

B型事業所から一般就労へ

平成29年度、ワークスさぼてんから2名の方が一般就労されました。1名はヤンマーシンビオシス株式会社に就職され、清掃業務をされています。もう1名の方は、株式会社ココットで野菜のカットや皮むき業務をされています。就職したことがゴールではなく、定着できるようにこれからも支援を続けていきたいと思ひます。一般就労されたことは、本人の力はもちろん毎日の作業で日々利用者支援を行っている職員にとっても大きな喜びであります。ワークスさぼてんで色々な作業を経験し、ワークスさぼてんをステップに一人でも多くの方が次のステージで活躍できるように今後も作業を通して利用者支援を深めていきたいと考えています。

ワークスさぼてん

フォークリフトを整備しました

ワークスさぼてんでは、作業の効率を上げるためにフォークリフトを整備しました。作業はもちろん冬場は除雪にも大活躍です。何か良いお仕事があれば紹介してください。

まずは、安全第一で取り組んでいきたいと思ひます。



いぶきやま

思い思いのおつかれさん♪

いぶきやまでは、毎年1年間の労をねぎらって、生活介護、B型、それぞれ、年度末におつかれさん会を実施しています。生活介護では、今年度は利用者の皆さんそれぞれの楽しみに合わせた形で、数グループに分かれて行いました。カラオケが好きな方のグループ、ボウリングがしたい～という方達のグループなど好きな活動を楽しまれたり、またバイキングスタイルの昼食で食事を楽しみに出かける方がおられたり、中には電車が大好きな方には、職員と一緒に電車でピワイチをするといったちょっとした冒険を楽しまれた方もおられました。みなさん、1年間おつかれさまでした。



やまぶき

お疲れ様会&お別れ会開催

3月30日の午後、やまぶきでは、お疲れさん会兼お別れ会を行いました。はじめにみんなでシフォンケーキを使ってイチゴのケーキを作りました。その後みんなで歌を練習し本番に備え、始まりの時間に食堂に集合し、今年一年の感想を発表しあった後、異動する職員の紹介を行いました。職員の異動で、突然の別れをさみしがり名ごり惜しんだり、1年を振り返り楽しい思い出を語り合ったり、おやつタイムを満喫し、明日からもこれまでと変わらず元気にやまぶきへ通えるようにとみんなで確認しました。



あ〜と 放課後デイサービスの活動について

あ〜との放課後デイサービスでは、月2回長浜市常喜町にある西黒田公民館をお借りして、児童の利用者さんと一緒に身体を動かす活動に取り組んでいます。活動内容は、利用者さんも知っているドッチボールやしっぽ取り、初めて遊ぶリバーシ鬼ごっこやビンゴゲームなど様々なもので、支援員がレクレーションの研修で学んだことを活かし取り組んでいます。

活動を通して、ルールやチームワークの大切さや、競争する楽しさなどを学んでいただいています。参加される中で、「次はこのルールにしよう」、「次は勝つわ」、「次はあの遊びがしたい」など利用者さんが自ら考え提案されることが多くなりました。今後も利用者さんが次も遊びたいと思えるような活動を提供し、活動を通して身体を動かす大切さや友達と一緒に頑張る気持ちを育むことができれば嬉しく思ひます。



ビンゴゲーム



ボールでストレッチ



リバーシ鬼ごっこ

寄付と後援会入会のお願い

社会福祉法人湖北会后援会の趣旨に賛同され、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。

1.寄付金

2.個人会員 一〇 1,000円

3.団体会員 一〇 5,000円

郵便振替口座

00950-8-232378

名義 社会福祉法人湖北会后援会

平成29年度 後援会入会と会費納入 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

【325名、1団体、1寄付者】

☆ご支援、まことにありがとうございました。☆

ドライブレコーダーの 搭載完了

現在、湖北会で配備している公用車は、実に100台を超え、平成26年度にその中で、主に送迎・活動用に使用しているハイエースクラスの車両で各事業所に2台ずつドライブレコーダーを搭載しておりましたが、安全運行対策として、今回まだ未搭載であった残りのハイエースクラスの送迎及び活動車両にも、搭載を完了しました。

新車購入及び法人事業所間での車両交換により、事業所でのドライブレコーダー搭載数にバラツキがでてきていたことと、また、送迎及び活動車両に搭載して、運転者は安全運転を再確認するとの認識をもって、事故防止に繋げるとともに、記録データを事故後の検証及び再発防止のための材料とするために、未搭載車両への搭載整備を行ったものです。

搭載したから終わりではなく、今後も職員間で安全運転に対する意識付けを図っていきます。



シリーズ

おすすめスポット vol.13

おかしの三口屋

国道8号線を走り、彦根市の「高宮町」信号で琵琶湖側へ曲がって300mほど進むと、右手に見えてくるのがこの「おかしの三口屋」です。150坪もある広い倉庫の中にずらりと駄菓子が並べられています。もちろん、おもちや・花火・珍味など、「昔の駄菓子屋さん」の定番もばっちりカバー。子供の頃を思い出しながら駄菓子をカゴいっぱい詰めて会計すれば、その金額を見てきっと経営努力に驚かれることでしょう。なにせうまい棒が税込みで9円ですから!



※写真はいずれも店舗の許可を得てあそしあ支援員井嶋が撮影したものです。

編集後記

早いもので、新年度がはじまりました。4月は入学、就職などで新生活を始められた方も多いのではないのでしょうか。

春といえば、お花見ですが、皆さま行楽には行かれましたでしょうか?

先日のニュースで桜の木が将来的になくなるかも?・・・と。

外来種の虫が食い荒らしているそうです。個人的にはなかなか食い止めることは難しいですが、一人ひとりできることを考えて、日本の心、桜を大事にしながら、三口屋のお菓子をもってお花見にいきたいですね。

編集委員：大岩 憲市